

「指導者になってよかったこと」

今から 20 数年前、長男を ビーバースカウトに 入れていただき、
まだ 3~4 才だった次男も、同時に 活動に 加えていただきました。
家族みんなと一緒に スカウト活動をして、同時に 同じ経験をした事は
とてもいい思い出となって 思い返されます。

まもなく 夫が ビーバー隊長に なり、長男が カブ隊に 入ると
デンリーダーという 存在を 知りました。

すごい役目だなー、私には 無理だなーと 思っていました。

ところが その私に デンリーダーの 要請が 来たのです。

不安に思う私に

「大丈夫よ、一緒に やりましょう！」

と 言って下さったのは、

今現在ボーイ隊副長を されている豊田さん、のお母さんでした。

いろいろ教えてもらいながら、毎回 参加していくうちに、

スカウトたちとも 親しくなり

デンリーダーが、そしてスカウト活動が どんどん楽しくなっていました。

スカウトと 活動外に 道で 出会ったら

「吉田リーダー！」と 呼びとめてくれるのも 嬉しい事でした。

良い先輩に 出会えて、デンリーダーを やってみて よかったなぁと思いました。

その後 カブ隊隊長が 藤丸隊長から 浜嶋隊長に変わると

今度は 副長に ならないか、と 言われたのです。

これもまた ビックリでしたが、夫の

「求められている時には やるべきだよ」

の言葉に推され 引き受ける事にしました。

十分な知識は無かったけれど、

浜嶋隊長に 叱られながら、自分なりに 考え、ハンドブックを読み、

活動計画を立てて、実行していくうちに、少しずつ自信が付き、

スカウトと 過ごす活動に、意欲が湧いてきました。

しばらくして 浜嶋隊長に 東京出張が 多くなり、

豊中地区の ラウンドテーブル(=月 1 回の隊長会議)に

隊長代理として 毎月 出席する事になりました。

そこで 知り合ったのが AK さんです。

行動力のある 歌の上手い 優しい 素敵な女性指導者であり、
コミッショナー(=ラウンドテーブルの まとめ役)でした。
毎月 いろいろな課題を 提供され、地区行事の案を話し合ったり、
各団での困り事や、 楽しい活動のヒントを聞き合ったりして
充実した時間を 過ごしました。
こんな素敵な女性リーダーに なれたらいいのになぁ…と 憧れました。

そんな時、大三島(=おおみしま、愛媛県)で
4TC=第4回豊中キャンポリー(=豊中地区全体の キャンプ) がありました。
「吉田さん、みんなより一日早く行って 一緒に準備を 手伝ってくれない？」
と AK さんに 言われた時は「えっ？ 私でいいの？」と 驚き半分、嬉しさ半分でした。
浜嶋隊長に 相談すると「それは是非 行ってください」と 快諾されました。

大三島では AK さんが創られた壮大なストーリーに沿って
宝箱や、巻き物、スイカのランタン、入場ゲイトを 作ったり、
部屋割り図作成や、会場やストーリー展開の確認なども しました。
行き届いた準備の数々には、さらに 感心させられました。

4TC は 隊長スタントから始まり、
巻き物を 読んで、謎を解きながら 宝探しをし、
最後の キャンプファイヤーで 宝箱を 開けるストーリーで、
ペットボトルで作ったイカダ競争、砂絵のサンドアートコンテスト、
島の探検、バーベキュー、夜店、夜の大集会、 などが 組み込まれ
真夏の3泊4日は あっという間に 過ぎました。
これら全部を 私たち指導者が協力しあって
企画、準備して、実行したんだ、という達成感と感動は
指導者を していないと 味わえないものだとしみじみ思いました。

AK さんは 今はもう一線を 退いてられますし、
私も 父の介護で 京都に 移り住んだりしたので、
リーダーは やめました、
思い起こすと あれもこれも すごく面白かった、楽しかった。

豊中地区には AK さんだけでなく、
他の女性リーダーや、
男性リーダーの中にも

素敵なお方、面白い方は 沢山 おられます。
指導者になって、スカウトと共に活動を 楽しみ、
地区や2団の 指導者とも 交じり合い、語り合っ
てより充実した毎日を 過ごす事を
ほかの方にも お勧めしたいと 思います。